

第三回ハナショウガ研究会

日時：2008年8月2日(土)

場所：大洋香料株式会社(〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路 1-6-27)

Tel 06-6322-1377 Fax 06-6325-3680

<http://www.taiyo-koryo.co.jp/company/index.html> (大洋香料 HP)

<http://kensaku.kotsu.city.osaka.jp/bus/dia/jikoku/jikoku005430.html> (大阪からのバス時刻)

(司会：北山隆氏)

I. 会長挨拶(10:30～10:40) 沢田 誠二氏(京都教育大学名誉教授)

II. 研究会幹事連絡・報告(10:40～10:55) 北山 隆氏(近畿大学農学部)

III. 研究課題紹介

有用 NMRDOS

11:00～12:00 谷口 久次氏((財)わかやま産業振興財団)

フェルラ酸の利用開発ー研究の立ち上げから開発までー

昼食(各自持参下さい)(12:00～13:00)

ハナショウガ

13:00～13:30 北山 隆氏(近畿大学大学院農学研究科)

ゼルンボンの開発研究(国際バイオ EXPO&近畿バイオインダストリー発表)

13:30～13:50 河合 靖氏(長浜バイオ大学バイオサイエンス学部)

微生物変換を用いたゼルンボンの誘導化検討

～ハナショウガ茶ブレーク (1)～(13:50～14:00)

14:00～14:20 平瀬 創太氏(大洋香料株)

ハナショウガの開発研究(国際バイオ EXPO、その他)

14:20～14:40 村上 明氏(京都大学大学院農学研究科)

アフィニティーゲルを使ったゼルンボン結合タンパク質の解析

14:40～15:00 岡本 尚氏(近畿大学大学院農学研究科：内海研究室)

ハナショウガ由来セスキテルペン合成酵素遺伝子の単離と応用

～ハナショウガ茶ブレーク (2)～(15:00～15:15)

「他のショウガ」

15:15～15:35 菊崎 泰枝氏(大阪市立大学大学院生活科学研究科)

黒ショウガ (*Kaempferia parviflora*) の水溶性成分

有用 NMRDOS

15:35～15:55 棚橋 光彦氏(岐阜大学応用生物科学科)

ツヤ酸の反応性検討

他の NMRDOS の可能性

15:55～16:15 橋本 敏弘氏(徳島文理大学薬学部)

生薬、苔類および菌類に含まれる高含有天然物の生理活性と変換反応

IV. 謝辞 宮脇 英昭氏(大洋香料株) 16:15～16:25

V. 大洋香料株研究所内見学 16:25～16:55

VI. 情報交歓会(同研究所内) 17:00～